



# 校長だより(職員編)

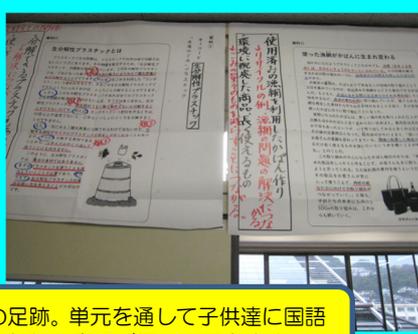
呉市立阿賀小学校  
安宗 誠

## 単元のゴールを明確に意識させる授業づくりの工夫

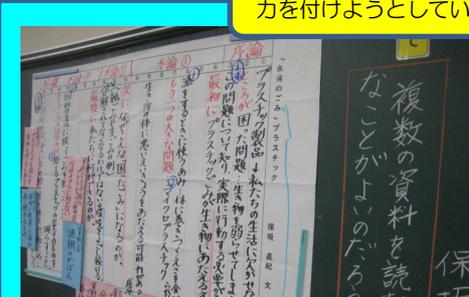
本日、神垣愛教諭(6-2担任)による国語の研究授業を行いました。本文に説得力をもたせるための資料の効果を捉え、それを実際に書く活動に取り入れることを意識させた非常に優れた授業でした。



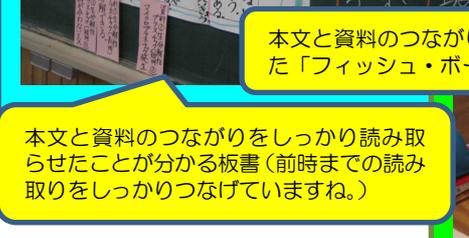
これまでの単元の学習の足跡。単元を通して子供達に国語力を付けようとしている教師の意図が伝わってきます。



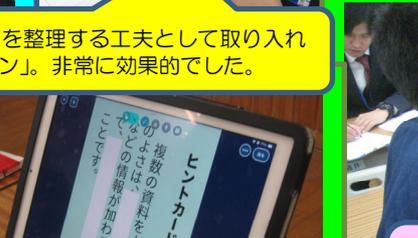
環境に関する本を教師がたくさん集めて子供達に紹介しているコーナー(読み取りを終えた後のパンフレットづくりを子供達に意識させていますね。)



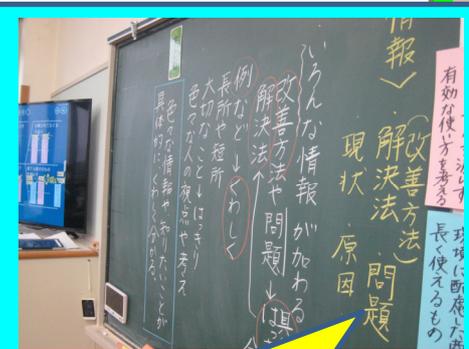
本文と資料のつながりを整理する工夫として取り入れた「フィッシュ・ボーン」。非常に効果的でした。



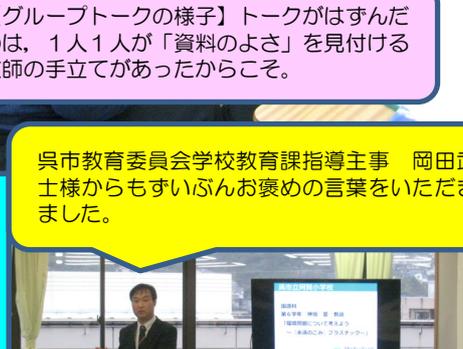
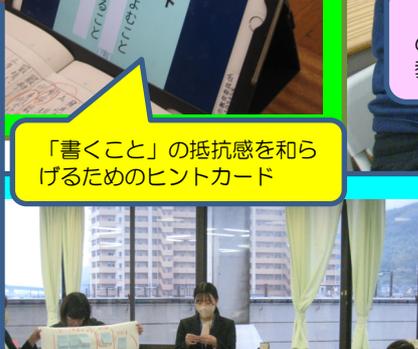
本文と資料のつながりをしっかり読み取らせたことが分かる板書(前時までの読み取りをしっかりとつなげていますね。)



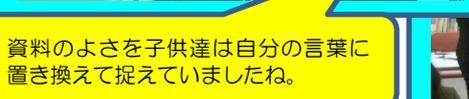
【グループトークの様子】トークがはずんだのは、1人1人が「資料のよさ」を見付ける教師の手立てがあったからこそ。



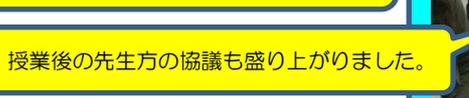
「書くこと」の抵抗感を和らげるためのヒントカード



呉市教育委員会学校教育課指導主事 岡田武士様からもすいぶんお褒めの言葉をいただきました。



資料のよさを子供達は自分の言葉に置き換えて捉えていましたね。



授業後の先生方の協議も盛り上がりました。